



小林幾英《上野公園内国博覧會開場之図》1890（明治23）年 大判錦絵3枚続 那須野が原博物館蔵

文明開化のニッポン
浮世絵師の描いた明治

企画展記念講演会

明治時代の錦絵の特徴と その魅力

特別企画展出品作品を中心に、明治時代の錦絵（多色摺の浮世絵版画）の特徴を時代の流れに沿って紹介し、その魅力に迫ります！

2024年

10月5日(土)

午後1時30分～3時

鹿沼市民情報センター
2階 子育て情報室A

栃木県鹿沼市文化橋町1982-18
川上澄生美術館より徒歩3分

講師：鈴木浩平氏（美術史家）

1953（昭和28）年 名古屋市生まれ。
立正大学文学部史学科卒。橋崎宗重氏に師事。
那須ロイヤル美術館の学芸員をへて、山口県立萩美術館・浦上記念館の専門学芸員に赴任。
同館学芸課長をへて、2013年、副館長にて定年退職。
同年より学芸顧問を務め、2015年、館長に就任。翌2016年に退職。
現在にいたる。

鳥文齋栄之、礫川亭永理、楊洲周延等の研究論文を『浮世絵芸術』（国際浮世絵学会会誌）に発表。
第2回内山晋米寿記念浮世絵奨励賞受賞。
第2回国際浮世絵学会賞受賞。

現在、国際浮世絵学会理事。元浮世絵連絡協議会会長。

定員：30名
参加費無料！

申込方法 9月7日(土)午前9時より
鹿沼市立川上澄生美術館へ電話で申込
TEL 0289-62-8272